

# 「COVID-19流行下の生活習慣の変化が子どもの身体へ与える長期的影響」に関する研究協力をお願い

## お子さん用

新型コロナウイルス感染症の流行によって、学校が休みになったり、運動会などのイベントが中止になったり、みなさんの生活に大きな変化をもたらしました。京都大学では、新型コロナウイルス感染症の流行が子ども達の身体に与えた影響について研究を行っています。

## 研究内容

**研究のタイトル** COVID-19流行下の生活習慣の変化が子どもの身体へ与える長期的影響

### 研究の目的

- 新型コロナウイルス感染症の流行による生活習慣の変化が子どもたちの身体へどのような影響を与えたかを研究しています。
- 将来、新型コロナウイルス感染症のような大規模な感染症の流行が起こった時に、その影響を最小限にし、子どもたちが健康に成長できるように対策を考えるために重要です。
- みなさんの身体に悪い影響が続いていることがわかった場合、その原因を明らかにし、改善する方法を考えます。

### 研究の方法

あなたとお家の人に新型コロナウイルス感染症による流行前後の生活習慣や身体の変化についてアンケート調査を行います。過去に回答いただいたエコチル調査の結果も用いて、新型コロナウイルス流行前から現在まで経過を観察します。

研究実施期間：研究の実施が承認された日～2028年3月31日

### 回答方法

1. アンケートはWeb（ウェブ）から回答してもらいます。お家の方が約15分、あなたは約5分程度かかります。
2. スマートフォンやタブレット、パソコンなどから回答フォーム<URL>にアクセスして回答してください。
3. はじめに、お家の人に答えていただいた後、続けてあなたが回答してください。

調査回答期間：2025年2月1日～2025年4月30日

研究を行うにあたり、みなさんと次のことをお約束します。

## 研究への参加と、不同意・撤回について

1. アンケートへの協力は自由です。研究に協力したあとも、いつでも取りやめることができます。お家の方と相談して協力するかどうか決めてください。
2. 研究に協力しなくても、あなたに悪い影響はありません。

## 個人情報やみなさんの回答データの取り扱いについて

1. アンケートでは、名前を書かずに回答してもらいます。これまでにお答えいただいたエコチル調査のデータとは、ID番号で確認しますので、研究者は、誰が答えたものかはわかりません。
2. みなさんの回答は、他の人に見られないように大切に扱われます。
3. 研究者は、みなさんの回答を研究目的以外に使用しません。

## ＜お問合せ先・相談窓口＞

### 1) 研究についての相談窓口

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻先端看護科学コースブックデータ医科学分野  
藤本 萌美 (E-mail) fujimoto.megumi.68m@st.kyoto-u.ac.jp

### 2) 京都大学の苦情等の相談窓口

京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛

(E-mail) 060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp (Tel) 075-753-9301